



2024年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月28日
東

上場会社名 ソーバル株式会社 上場取引所
コード番号 2186 URL <https://www.sobal.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 推津 敦
兼最高経営責任者
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 島谷 裕一 (TEL) 03-6409-6131
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第3四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	6,048	△0.9	519	△13.9	532	△13.5	356	△42.1
2023年2月期第3四半期	6,102	0.9	603	31.2	615	26.0	615	91.6

(注) 包括利益 2024年2月期第3四半期 356百万円(△42.1%) 2023年2月期第3四半期 615百万円(91.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年2月期第3四半期	45	29	—	—
2023年2月期第3四半期	78	23	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第3四半期	4,824	82.8	4,007	82.8	—	—
2023年2月期	5,181	75.2	3,910	75.2	—	—

(参考) 自己資本 2024年2月期第3四半期 3,992百万円 2023年2月期 3,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年2月期	—	16.50	—	16.50	33.00	—
2024年2月期	—	16.50	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	16.50	33.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	7,670	△6.0	650	1.0	660	0.5	440	△35.6	55	93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年2月期3Q	8,167,498株	2023年2月期	8,167,498株
2024年2月期3Q	300,241株	2023年2月期	300,241株
2024年2月期3Q	7,867,257株	2023年2月期3Q	7,867,257株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の2024年2月期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がありますことをご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動は正常化に向けて進み始め、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方で、地政学的リスクの長期化や資源・原材料価格の上昇、世界的な金融引締めの影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しする可能性があり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客である大手製造業各社では、競争優位に向けた研究開発の積極的な投資を維持していることから、当社グループに対するニーズも底堅く推移しております。

このような環境の中、当社グループは中長期的な成長を見据えた人材・技術力の強化に取り組み、積極的な採用活動の継続とともにプロジェクトマネージャーとDXが推進できる技術者の育成に努めてまいりました。また高水準の稼働率維持と一括受託案件獲得の強化ならびに契約単価の改定等の施策を進め、その結果、注力するWEB/アプリケーションおよび業務系システム開発分野の売上高は着実に伸長しております。引き続きこれらの施策を進め、競争優位性を高めてまいります。一方で、組込み分野においては期初に一部顧客との間で瑕疵対応が生じ対応にリソースを要したため、売上高が伸び悩みました。しかし、当第3四半期連結累計期間中に問題は解決しており、当該プロジェクトについて継続受注を獲得しております。同分野は今後、売上高、利益とも挽回に努めてまいります。

また、2022年8月1日付で「品質評価」サービス事業に属する権利義務を、株式会社AGESTへ会社分割（簡易吸収分割）の方法により承継したことから、売上高、利益とも前年同期比で減収減益となりましたが、概ね計画通りに推移しております。

これらの諸要因を主として、当社グループの売上高は6,048百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は519百万円（同13.9%減）、経常利益は532百万円（同13.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は356百万円（同42.1%減）となりました。

今後も引き続き、営業力と利益体質の強化に努めてまいります。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計額は4,824百万円となり、前連結会計年度末比357百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が428百万円減少したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が81百万円増加したことによるものであります。

負債合計額は816百万円となり、前連結会計年度末比453百万円の減少となりました。これは主に未払費用が70百万円増加したこと、未払法人税等が263百万円減少したこと、賞与引当金が225百万円減少したことによるものであります。

純資産合計額は4,007百万円となり、前連結会計年度末比96百万円の増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が96百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年4月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,825,306	2,396,640
受取手形、売掛金及び契約資産	1,099,078	1,180,680
仕掛品	81,966	95,807
原材料及び貯蔵品	15,915	13,150
その他	372,463	363,986
貸倒引当金	△4,652	△5,011
流動資産合計	4,390,078	4,045,252
固定資産		
有形固定資産		
土地	367,907	367,907
その他(純額)	103,969	94,085
有形固定資産合計	471,877	461,992
無形固定資産		
その他	4,666	3,651
無形固定資産合計	4,666	3,651
投資その他の資産	315,087	313,396
固定資産合計	791,630	779,041
資産合計	5,181,708	4,824,293
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,393	7,507
未払費用	103,003	173,851
未払法人税等	276,052	12,777
賞与引当金	233,974	8,610
受注損失引当金	2,487	65
その他	496,586	464,229
流動負債合計	1,125,496	667,041
固定負債		
役員退職慰労引当金	63,199	69,471
その他	82,162	80,352
固定負債合計	145,362	149,823
負債合計	1,270,858	816,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,265	214,265
資本剰余金	119,265	119,265
利益剰余金	3,904,239	4,000,945
自己株式	△341,854	△341,854
株主資本合計	3,895,914	3,992,620
新株予約権	14,935	14,807
純資産合計	3,910,850	4,007,427
負債純資産合計	5,181,708	4,824,293

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
売上高	6,102,451	6,048,404
売上原価	4,762,078	4,803,295
売上総利益	1,340,373	1,245,109
販売費及び一般管理費	736,387	725,132
営業利益	603,986	519,976
営業外収益		
受取利息	11	13
保険配当金	9,866	8,500
その他	2,006	4,444
営業外収益合計	11,884	12,958
営業外費用		
支払利息	-	32
その他	23	38
営業外費用合計	23	71
経常利益	615,847	532,863
特別利益		
事業分離における移転利益	371,390	-
新株予約権戻入益	1,987	128
特別利益合計	373,377	128
特別損失		
減損損失	22,632	-
特別損失合計	22,632	-
税金等調整前四半期純利益	966,592	532,991
法人税等	351,169	176,666
四半期純利益	615,422	356,325
親会社株主に帰属する四半期純利益	615,422	356,325

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	615,422	356,325
四半期包括利益	615,422	356,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	615,422	356,325
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。